



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 2003, 79(5):
878-880

ISSUE DATE:

2003-02-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/97403>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成15年2月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第79巻 第5号

ISSN 0525-2997

vol.79 no.5

物性研究

2003 / 2

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し議論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文で引用する時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **76** (2001), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

掲 示 板

基礎物理学研究所所員公募

公募人員：教授 1 名

分 野：統計物理・物性理論

着任時期：決定後できるだけ早い時期を希望 (決定は 2003 年 7 月下旬)

任 期：5～10 年

提出書類：○履歴書 ○発表論文リスト (主要論文 5 点以内に印)
○主要論文別刷 (コピー可) ○研究歴 ○就任した場合の研究計画
○着任可能時期 [以上各 2 通]
○他薦の場合は推薦書

公募締切：2003 年 4 月 30 日 (水) 必着

書類宛先：〒 606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学基礎物理学研究所長 益川 敏英

問合せ先：同研究所 藤田
電話：075-753-7009
e-mail：fujita@yukawa.kyoto-u.ac.jp

そ の 他：封筒に「教授応募 (推薦) 書類在中」と朱書のこと。
提出書類は原則として返却しない。

編集部より

2003 年度「物性研究」会費納入について

2003 年度の「物性研究」の発行は下記の通りです。

Vol. 80 No.1 - 6 (2003 年 4 月号 ~ 2003 年 9 月号)

Vol. 81 No.1 - 6 (2003 年 10 月号 ~ 2004 年 3 月号)

個人会員は、郵便振替による前納制となっておりますので、2003 年度購読希望者は、本号にとじ込みの郵便振替用紙で、年額 9,600 円をお振込下さい。発送の準備がありますので、振込は 2003 年 3 月末までをお願いします。

中止は巻の切れめしかできませんので、2002 年度 (Vol.79 No.6 まで) で中止を希望の方は、至急、ご連絡下さい。本人から中止の連絡のない場合は、自動的に継続されますのでご注意ください。

2002 年度の会費が未納の方 (封筒に未納額を記載) は、早急にお振込くださいますようお願いいたします。

〒 606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物 性 研 究 刊 行 会

Tel. (075) 722-3540, 753-7051

Fax. (075) 722-6339

郵便振替口座 01010-6-5312

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

編集後記

相撲の貴乃花が引退した。私は今ではすっかり相撲を取ることも見ることもないが子供のときは相撲好きで知られる少年であった。小学生時代は大相撲を毎年1回見に行っていたし、テレビにかじりついてひいきの力士を応援していた。また体育の授業でクラスを半分に割って相撲の勝ち抜きをすると全員抜くなどほぼ素人相撲ではまず負けることはなかった。

相撲は時代に応じて梅常陸の時代から太刀山、栃木山を経て戦前の双葉山の登場があって隆盛を極めるようになった。戦後も栃若の時代に人気が沸騰した後に柏鵬に引き継がれ、その後も北玉から輪湖を経て千代の富士、そして曙貴時代を経て今日に至っている。このように強い横綱や拮抗したライバルがよいタイミングで現われ続けて世代を引き継いで来ている。今場所で貴乃花が引退して朝青龍が横綱に昇進したのはまさにこの流れに乗っているが、相撲人気はすっかり衰えて、今後どうなっていくのか先行きに不安を感じるファンも多いだろう。

ミーハーな相撲人気が絶頂だったのが貴乃花が貴花田という四股名で曙と競っていた頃だから昨今の零落ぶりは急で甚だしい。そもそも二子山部屋と藤島部屋が合併して上位幕内力士間の取り組みがなくなったのが相撲人気の衰退の原因の一つであり、また外国出身力士に対抗できる日本人がいなくなったのも一因となっている。

貴乃花はなんだかんだと言っても日本人の横綱としての孤塁を保っていた。しかし小泉が「感動した」と絶叫した相撲で全てを失った。足の怪我をおして無理に相撲を取ったことで目先の勝利と熱狂は獲得したが相撲人生はそこで終ったに等しい。あそこはやはり休場すべきだったのであろう。

国技としての相撲がこのまま衰えていくのを見るのは忍びない。しかし科学や大学をめぐる環境も予断を許さず、相撲のようになってしまうかもしれない。幾つかの類推があてはまる。相撲人気がなくなったのは子供たちが相撲をしなくなったからである。一方、子供の理科離れは先進国共通である。またアメリカ等においては(特に理論系では)院生やポスドクは外国人ばかりであって、自国人はいろいろな意味で太刀打ちできない状況にある。また一部の機関に人気と人材が集まりすぎ、あるいは集めるシステムに移行させようとしていて若い学問としての魅力が失われつつある印象がある。こうして考えると田中さんがノーベル賞に関してミーハーな人気が出た現状は逆に危機的で、若貴人気の湧いた後の相撲のように科学全体の衰退はあっという間におこるかもしれない。また目先の効果を追い求めて「感動」的な即効性のある改革をすると学問にはとどめを刺し兼ねない。特に日本では学力低下の波がおそろしい勢いで伝播しており今後が懸念される状況にある。

(H. H.)

[物性研究]

編集長

早川 尚男 (京大・人環)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
藤本 聡 (京大・理・物理)
加藤 将樹 (京大・理・化学)
佐々木 豊 (京大・低温センター)
常次 宏一 (京大・基研)
村瀬 雅俊 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
早川 美德 (東北大・理・物理)
藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)
堀田 貴嗣 (原研・先端研)
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)
永井 寛之 (信州大・理・物理)
岡本 祐幸 (分子科学研)
倭 剛久 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
関本 謙 (レイバースツール大・物理)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
市岡 優典 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 79 卷第 5 号 (平成 15 年 2 月号) 2003 年 2 月 20 日 発行

発行人 早 川 尚 男

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 昭 和 企 業 組 合
昭 和 堂 印 刷 所

〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

[物性研究]

編集長

早川 尚男 (京大・人環)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
藤本 聡 (京大・理・物理)
加藤 将樹 (京大・理・化学)
佐々木 豊 (京大・低温センター)
常次 宏一 (京大・基研)
村瀬 雅俊 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
早川 美德 (東北大・理・物理)
藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)
堀田 貴嗣 (原研・先端研)
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)
永井 寛之 (信州大・理・物理)
岡本 祐幸 (分子科学研)
倭 剛久 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
関本 謙 (レイバースツール大・物理)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
市岡 優典 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 79 卷第 5 号 (平成 15 年 2 月号) 2003 年 2 月 20 日 発行

発行人 早 川 尚 男

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和企業組合
昭和堂印刷所

〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075) 722-3540, 753-7051

FAX (075) 722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物性研究 79-5 (2月号) 目次

○博士論文解説

幾何学的拘束を伴ったポリマー性超分子の研究

—環状分子が線状高分子の潜在能力を呼び覚ます— ……奥村 泰志…… 691

○研究会報告

「新奇な秩序を持つ系での相転移」 …………… 745

○ひろば

通説は俗説かもね —矛盾あれば楽しくねばって解決しよう—

……………松田 博嗣…… 872

○掲示板

基礎物理学研究所所員公募…………… 878

○編集部より

2003年度「物性研究」会費納入について…………… 879

○編集後記…………… 880

物性研究 79-5 (2月号) 目次

○博士論文解説

幾何学的拘束を伴ったポリマー性超分子の研究

—環状分子が線状高分子の潜在能力を呼び覚ます— ……奥村 泰志…… 691

○研究会報告

「新奇な秩序を持つ系での相転移」 …………… 745

○ひろば

通説は俗説かもね —矛盾あれば楽しくねばって解決しよう—

……………松田 博嗣…… 872

○掲示板

基礎物理学研究所所員公募…………… 878

○編集部より

2003年度「物性研究」会費納入について…………… 879

○編集後記…………… 880